

平成 29 年 1 月
第 366 号



神明神社に『ワライカワセミ』が…！



お
お



(丸森邸) お披露目式 12月23日

大湫宿の活動拠点として1月5日オープン。

おもな内容

- ・大湫コミ会長新年挨拶 …P2
- ・公民館新館長 …P3
- ・丸森邸施設長 …P4
- ・新民生児童委員 …P5
- ・干支コーナー …P6~P7



「新たな出発」

あけましておめでとう
ございます。皆様には「健
勝にて新年をおむかえのこ
ととお慶び申し上げます。

今年は、新年早々、一月二十二日に
コミュニティ推進協議会創設三〇周年記
念事業を行います。設置の経緯につい
て少し説明しますと、当時の日本は、日
本経済が「バブル景気」に沸く半面、少
子高齢化が急速に進展し地域のつな
り、連帯感が薄れるなどの新たな地域
課題が深刻となりました。そうした
中、旧自治省は地域コミュニティを強化
するため、地域住民が強い連帯感で支
えあい地域の実情に応じた創意と工夫
に富んだコミュニティ活動を推進するこ
とを目的とした「コミュニティ推進地区」
を設定したもので、大湫町もその地区
に応募したものです。

これまで、大湫宿の修景・歴史を大切
にし、町民にとつて住みよいまちづくり
をめざして様々な取り組みをおこなつ
てまいりました。今年は、大湫宿の町並
み保全を重点に、「ご寄附いただいた旧
小木曾邸 米屋」の修繕、一昨年の大雪
により崩れた西森川の県道に面した部
分を所有者と協議しながら修繕したい
と考えております。また「オオクテ・ツク
ルテ」の事業につきましても、本年は陶
磁器フェスティバルのサブ会場として予
定されておりますので支援協力してま
いります。

ちなみに今年の干支は丁酉（ひのとと
り）です。曆からすると丁は「ひのと」と
読み「火」、酉はと「金」の性質を持つてい
て火と金を合わせると火が金を溶かし
てしまいますことで「相剋（そうこく）で順当
でないことを意味するようですが、たん
に酉年だけをみれば実り多い転機の年
です。指定管理による公民館・丸森の運

営も始まります。革命の年だけど慎
重に」を肝に命じ良い一年になるよう頑
張つてまいります。本年が皆様にとつて
明るい幸せな年になりますよう祈念し、
新年のご挨拶とさせていただきます。

大湫町コミュニティ推進協議会

会長 小栗 司



「お知らせ」

一月二十二日（日）に、「大湫町コミ
ュニティ推進協議会三〇周年記念行
事」を予定しています。

式典・講演・三味線や太鼓の演奏・
風船飛ばし等を行ないます。詳しく
は、配布するチラシをご覧ください。

新制度下の公民館事業に

あたたかな支援と協力を

長谷川 明

明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新しい年をお迎えることとお喜び申し上げます。

すでに話題となつていきますように、瑞浪市指定管理者制度により、本年（2017年）1月から「大湫町コミュニティ推進協議会」が公民館と丸森（旧森川邸）の管理運営をおこないます。これにより両施設の一体的な活用ができる可能性が広がったわけです。いままでも公民館は地域活動の拠点施設として、多面的で多彩な活動をおこなってきました。そして新たに修復、公開される丸森邸とともに、公民館の事業が推進されるならば、相乗効果が期待できると考えられます。

ご存じのことと思いますが、一昨年（2015年）の人口が、はじめて減少に転じたことが報じられました。この現象は、1920（大正9）年に国勢調査が始められて以来のこと。さらに、人口に占める65歳以上の割合が26.7%、4人に一人以上がこの年代となりました。この数字は多くの地域で過疎化と高齢化が、かつてないスピードで行っていることを示しています。

そのことを嘆いていても何の解決にもならないでしょう。現実を冷静に見ることにより、新たなことに気がきます。高齢世代の多くが心身に元気で、重要な労働力の一端を實際に担っておられるということ。ともすれば、こうした年金世代は次世代に負担をかけていると、対立的に両世代が捉えられることも時にみられます。人生

を長く送ってこられた人たちは、体験と経験に裏打ちされた豊かな技量や能力があり、地域に貢献できる人的なパワー、エネルギーです。新たな公民館事業の支援に、いわゆる現役世代と共に協力いただくことで、人口増加が続いた時代とは異なる地域のあり方が期待できます。

公民館が地域の集いの場・学習の場・助け合いの場となり、さらに持続可能で精神的に豊かでゆつたりとした地域を創り出すことに、その役割はたせるものと思えます。

申し遅れましたが、私は1月からこの新たな制度による公民館の管理・運営に、館長として従事することになりました。どうぞよろしくお願いたします。



“どうぞ”丸森邸へ

玉置憲政

平成二十九年の年明けより、丸森邸の指定管理がスタートすることとなり、指定管理者として、私をはじめ十一名のスタッフが勤めさせていただくことになりました。

どうぞよろしく

お願い申し上げます



この丸森邸は、中山道・大湫宿の歴史的建造物として、国の有形文化財に登録されています。

その貴重な建物を、所有者の森川訓行様より市が寄贈を受け、この度修復工事が完了しました。

そこで、大湫宿を来訪される方の観光施設（無料休憩・見学施設等）として活用することとなります。

ここ数年、春と秋のシーズンだけでなく、一年を通して大湫宿を訪れる人々が多くなってきましたが、その方々にとっての休息場所は、これまで公民館・お休み処・面高屋などに限られています。

た。

今回、丸森邸のオープンによって新しく一施設が加わったことで、少し前進となります。

そこで、大湫を訪れる人が立ち寄り、地元の人もお茶を飲みと・・・丸森邸が交流の場となるようお手伝いできたらと思っています。

オープン	一月五日	午前九	
入館料	無料		
開館時間	午前九時から 午後五		
休館日	年末年始と 臨時休館日		

ご存じですか？地域の身近な相談相手
「民生委員・児童委員」



大湫で、できること

大竹悦子

長い間おつとめさ
れた大内さんの後を
引き継ぎました。ご指
導ください。

先日受けたボランティア講座で「民
生委員は福祉サービスですよ。」と言
われました。又別の会場では近年高齢
化が進み地域での福祉に力を入れて
いかねばとも伝えられました。

そして今、見直されていることは
「お互いさま」の精神で「共助（共に
助け合う）・近助（近所で助け合う）」
ことの必要性です。このことは大湫で
はあたりまえの事で、今さら言われて
もとどなたも、さらりと流されると思

いますが、肝に命じ、声掛けに努力し
ます。

国は高齢者が住み慣れた場所で暮
らしていける「地域包括ケアシステ
ム」構築を自治体に求めているそうで
す。その末端のそのまた末端の $\frac{1}{10000}$
程のお手伝いが「ひよも」をおこして、
スタッフや来て下さる方々と一緒に
活動していくことができらばと思っ
ています。充分なことはできませんが
私のスタートはここからです。

民生児童委員をやるにあたって

安田信子

このほど、神田地区を受け持つこと
になりました。民生児童委員に関して
は何もわかっていない私ですが、皆様
に助けて頂きご協力のもとやっつい

きたいと思います。

どんな事でも連絡下されれば、私ので
きる事は協力し相談にのり、市との橋
渡しをしたいと思っています。

今は一人暮らしや高齢者が多いので
ので、声掛けや見守りが必要かと思
います。どこまで出来るかわかりませ
んが、とにかく使って下さい。
よろしくお願い致します。



大湫町の民生委員児童

足又地区：山口雪子 さん

西北地区：大竹悦子 さん

神田地区：安田信子 さん

主任児童委員

三戸美知代さん

4名の皆さん、よろしくお願いします。



千支コーナー

感謝

大内 富時子

私には22歳になる息子、真面目で優しい子そして、家族の為に働き支えてくれる父と何十年と大湫病院で働き2年前に退職し、家の家事をしてくれている料理上手な母の4人暮らしです。そんな両親は、私と息子をいつも支え、心配してくれています。昨年11月で両親は結婚50年を迎え何一つ親孝行出来てない私は、釜戸に嫁いだ妹と相談し、ささやかですが家族旅行を計画し行きました。これ一回で終わらず両親が元気であるうちに、これからも一緒に行きたいと思っています。

なかなか顔見では照れくさいので、

この場をかりて改めて「お父さん・お母さんいつも有難うございます。感謝しています。」

そして、これからも元気で息子共々よろしくお願いします。

山の暮らし

手島ゆう子

大湫の地で新年を迎えるのは今年で何回目でしょうか。年を追うごとに、今まで漠然と思いついてきた山の暮らしと実際との違いに気付くことが多くなりました。かつて住宅に関わる仕事をしていた関係で「住む」ことや

「人々の生活」に思いを巡らすことも

多く、自身も他の人と同様に山での暮らしは時間も空気もゆっくり流れていると思っていました。そしてのんびり暮ら



しているのだと。

（世のほとんどの人達がそのことを一番期待して『田舎暮らし』なる本等を手にとったりする訳ですが・・・）

こちらの空気は想像以上に大らかで豊かでした。けれどもその豊かな「空気」を守る為、山の人々はいつも忙しく立ち働き少しもじっとして居ることがありません。「暮らす」とはその地の本当の姿を知ること、そして丁寧に過すこと。今年一年もまたそのように重ねていきたいと思っています。

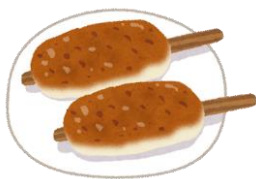
大湫と私の活性化

高島貞子

今年は酉年。私の千支ですが、何回目の年女なのか意識して忘れておりますが、自分が年を重ねて来ていて頭で思っている程、仕事が出来なくなっ

て来ているのは事実ですね。

自給自足に憧れて勇んでUターンしたのは十三年前、しかし我々を首を長くして待っていてくれた三人の親を看取るのが先で、思い描いていた畑仕事はなかく出来ず、やっと出来るようになったってきたら体が思うように動かず、この頃は身の程を知ると言うか出来る事をしようと思いい直しています。五年程前からお休み処で働かせて頂いて、旅の人とお話をする楽しみを見つけました。勉強不足でいいかげんな宿案内は出来ないところの間は三日間大湫宿の勉強会にも参加させて頂いて少し自信もつきました。年が過ぎか半分も頭に残って来ません、悔しいです。今年から丸森での留守番にも参加させていただいて古くなった頭の活性化と大湫



の宿場の為に少しでも役に立つ事が出来たらと又新たな出会いに期待を膨らませております。

すごい、やったね!

釜戸中学校

○第7回「いっしょに読もう!新聞コンクール」の優秀学校賞に選ばれました。

○第76回全国教育美術展

特選・I・S君「マイアート」

他にも数々のコンクールで生徒の皆さんが賞に輝かれました。

全国で輝くなんて、すごいね。

釜戸中の皆さん、おめでとうございます。

一月の俳句だより

天野辰代

如来になる友へ涙か冬の雨

世の常と思えば淋し冬の葬

石露枯れて枝も制げある八十路かな

呼んでみる如来の友へ寒の菊

菩薩寺の屋根に男の師走かな

青色回転灯防犯パトロール

1月のパトロール予定者

1/上旬：玉置憲政
大内延男
1/下旬：三輪勝彦
安藤則通



平成二十八年大湫町のニュース「十」

一、一月吉日、「登録有形文化財」に指定されている大湫宿の宝物「丸森邸の修復工事が始まった。十二月二十三日には完成お披露目式が行われた。

二、三月吉日、「岐阜県伝統文化継承功績者顕彰」を向井一峰さんが受けられた。後進の若い陶芸家に勇気を与えられた。

三、十月一日、二日、第二回「オオクテ・ツクルテ」が町と一体になって開催された。大湫宿の秋祭りに併せて町外より多くの人が来訪、陶芸作品と共に地元の特産品も展示販売されて大盛況に終わった。

四、三月吉日、宗昌寺本堂の耐震工事が始まり、十二月末に完成した。

五、十一月七日、瑞浪市功労者表彰で、地域の振興発展に尽力された大湫

コミュニティ推進協議会会長小栗司さんが表彰された。来年から公民館・丸森邸が指定管理者制度に変わり、「自分達の町は自分達でつくる」コミュニティ活動が一段と求められる。引き続き活躍を期待したい。

六、十月三日、「デマンド交通」が新しい仕組みで開始された。僻地の高齢者が、安心して暮らすために乗物は絶対欠かせないので、利用し易い運行を望みたい。

七、五月二十九日、みんなの農園「田んぼの学校」に、大人から子供まで七十八人が参集し、田植えを知らない子供達は大喜びで体験した。

八、六月十一日、「集まろう会」が「きなあた瑞浪」四周年祭に大湫太鼓を演奏して祝した。

十二月九日、稲津町オークワの開店セレモニーで大湫太鼓を披露した。

九、八月吉日、「中山道が好きだから」と、遊涌パーク周辺の草刈りをし、名前も告げずに帰られたとか、心温まる出来事であった。

十、九月吉日、民生委員を十五年間務められた大内延夫さんが県協議会長の表彰を受けられた。ご苦労様でした。

以上

余文 これから十年・二十年先には人口減少により、町・村の半分は消滅してしまうと言われているが、大湫は町ぐるみのコミュニティ活動のお陰で生き残れるような気がする。四月集落支援員に就任した加藤博一さんに期待すると共に、新しく町民になられた若い人達に大湫に住んで良かったと言われるような町づくりをしたいものだ。

天野長三郎

足又区コンニャクづく

り・餅花づくり 12月
14日

「今年はよーとれてよお」と、板橋さん棚橋さんから蒟蒻芋を分けていただけいた足又区では、餅花づくりの日に併せてコンニャクづくりも一緒に取り組むことといたしました。

コンニャクは雪子さん、餅花は真美子さんを古里先生に、皆で「わいわいがやがや」、結構な作業量に汗をふきふき大奮闘、それでも壽満子さんをはじめ皆さんが持ち寄って下さった食材での「お昼パーティー」の頃には、出来立て



の刺身コンニャクも食卓を飾り、和やかな団らのひと時となりました。

早朝から湯沸かしに奮闘した釜じい達は、中と外から温まって顔はほんのり紅

葉、「来年頑張るぞ！」と元気の出た一日となりました。(区長)

やまびいどん

高橋先生を囲んで蔓アート

最近、蔓かご作りをする機会を得て、久しぶりに物づくりの楽しさを味わいました。

ボールを型にして、様々な大きさの



蔓を編み込んでいきます。途中で切れたりゆるんだりして思うようにいきませんでしたが、いつのまにか蔓かご作りの魅力に引き込まれ、おしゃべりも忘れて夢中になりました。先生の指導のもと、二時間ほどで完成。でき上がったかごは、わが家の玄関で存在感をアピールしています。(足立きみ子)



丸森邸お披露目式 12月23日(祝・金)



旧森川訓行氏より寄贈を受けた通称「丸森邸」のお披露目式が市長始め多数の来賓出席の中、盛大に行われました。



中山道大湫宿 旧森川訓行家住宅 国登録有形文化財

中山道大湫宿の北部に位置し、旅籠屋を営むほかに尾州藩の許可を得て塩の専売も行いました。

建物は江戸時代末期の建築と推察、江戸の町屋形式をそのままに旅籠・商屋の雰囲気をよく残しています。

修復工事の過程で瓦が明治14年等に葺かれたことが明らかとなったことから、明治時代中期の姿に修復されました。



森川訓行氏もご出席下さいました。



式典後には、丸森邸のお披露目が行われました。



この日、丸森邸では「お茶席」も設けられました。



式典では、集まろう会大湫太鼓を披露し、華をそえてくれました。

心意気もね!

大湫の技術を伝授

大しめ縄飾いづくり 12月18日(日)



“良い年を迎えられるように”と願いを込めた『大しめ縄』を毎年、大湫公民館に飾りつけて頂いています。

こん身の力でなわないと、うまくいかない作業も、参加者の息の合った動きで全長4m以上もある大しめ縄が編み込まれていきます。まさに絆を編むように……。



門松づくり 12月21日(水)

そして、大湫町の伝統を絶やしてはいけないと、12月とは思えない温かな日差しの中で、公民館・ふれあいセンターと新たに「丸森邸」の門松も後日作って下さいました。



大しめ縄・門松をありがとうございました。
若者の参加もお待ちしています……。

あ
っ
ま
れ

平成29年

1月の集まるう会

大湫町
コミュニティ
推進協議会
集まるう会

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

☆ 今年も中仙道ゴルフ場で 釜戸小の子供たちの
書き初め展があります。日程がまだ決まっていません
が 1/21 以降から始まる予定です。集まるう会で
見に行こうと思っています。一緒に行きませんか？
(後日お知らせします) みんなで食事しましょう。
(食事代は自己負担になります)

☆ 1/22(日)大湫コミュニティ推進協議会創設30周年
記念事業で太鼓演奏します。(11時頃です)
みなさん見に来て下さい!! 子供たちを応援して下さい!!

☆ 1月の太鼓練習 (今年は1月も練習します)

★2土曜日

1/14(土) 9時30分から

大湫公民館です

「ほっかむす」
もやっています。
おちだ外屋
です。
ぜひ来て下さい

◎ 土曜日 1/21(土) は、記念事業の前日
のため、練習は中止します

◎ 今回は 練習後の
「こぶし」でのお茶タイム
は、ありません。

中仙道
ゴルフ場で
手作り作品
の展示も
しています。ぜひ
見に行ってください

「大湫公民館からのお知らせ」

*大湫公民館の指定管理がスタートします。今以上に「地域の憩いの場」となれるよう頑張りますので町民の皆様よろしくお願ひします。

オススメ!大湫分室の本 「消えないレシピ」

野村紘子：著

美味しい料理は、人の心を和ませ、会話を弾ませ、団らんの和が広がる。

著者の信条通りの季節の料理がたっぷりと載っています。親から子へ受け継がれた味です。

招待券あります(各2名様)

『みずなみ化石2016ニュース』

期間：H29.4.2まで

場所：市化石博物館レクチャールーム

『「凶変り」大皿の世界

伊万里染めの美』

期間：H29.4.9まで

場所：岐阜県現代陶芸美術館

(ギャラリーI)

企画展『お江戸の春は桜色』

期間：H29.1.2~2.12まで

場所：中山道広重美術館

『明治やきもの街道』

期間：H29.1.5~4.16まで

場所：岐阜県現代陶芸美術館

(ギャラリーII)

今年もよろしくお願ひします。

*大湫宿お休み処

1月の営業は22日(日)のイベントのみ営業します。

皆様のお越しをお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

*おもだか屋『ほっか』

1月営業日 (原則)毎週金、土、日曜日

営業時間 AM10:00~PM2:00

(ただし、営業日は変更になる事もあります。)



リ・アップ“ひよも”だより

賀正

1月のお茶のみ会のおさそい

日時 1月4日(水曜日)9:30~11:00頃まで

場所 大湫老人作業場

参加費 50円

お待ちしています

区長日記

新年あけましておめでとうございます。皆様方輝かしい新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

さて、大湫宿のシンボルでありました丸森・新森（国登録有形文化財）が26年2月の大雪にて、丸森は雪の落下によるひさしの崩壊、同じく新森も大屋根とひさしの損傷と甚大な被害がでました。当大湫町ではとても対応しきれなく、市へ働きかけ2軒とも市で寄付を受けていただき保存する運びとなりました。2年の歳月を要しまして丸森邸はとてもすばらしい建物へと生まれ変わり、12月23日には市主催による完成お披露目式が多数の来賓出席の元に盛大に行われました。1月5日からは観光案内所として職員が常駐し宿場の情報発信をしていただきます。町内の皆さんも気楽に立ち寄り、ふれあいの場としても活用していただきたいです。この丸森邸は大湫宿の活動拠点として発展に寄与していただける事と確信しています。また、1月から丸森と同じく大湫公民館の両施設が指定管理となり大湫町コミュニティ推進協議会（まちづくり）へ業務委託され

ます。大湫町にとりまして始めてのころみであり解らない事や戸惑う事が多くあるかと思えます。町民の皆様には支障のないよう、行政にも強く支援を働きかけたいと思えます。特に連絡所業務等については、指定管理での運営が軌道に乗るまでは市職員は引き上げないとの条件を認めていただいているので、力強い指導支援が期待できるものと思えます。

寒い時期ですので、お身体には充分気をつけられ、皆様にとつて今年も幸多い年でありますよう、お祈り申し上げます。

12月2日 定例区長・幹事会

7日 夢づくり交付金事業ステップアップ事業

14日 第3回大湫町コミュニティ推進協議会30周年記念事業実行委員会

社会福祉協議会評議会評議員会

15日 幼小中合同学校保健安全委員会

大湫町各種団体長会議



- 16日 防犯推進の会特別警戒出発式
- 17日 中仙道GCまつり
- 21日 田中司法事務所へ米屋登記手続き
- 22日 臨時区長・幹事会
- 23日 丸森お披露目式
- 25日 神田地区門松立て／役員会
- 27日 瑞浪市景観審議会
- 28日 消防年末特別警戒へ激励
- 31日 越年マラソン

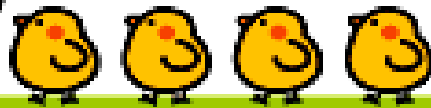
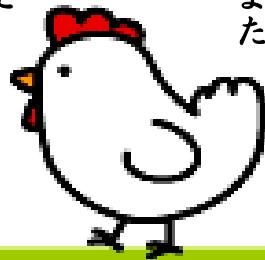
編集後記

あけましておめでとう
ございます。

いよいよ「公民館と丸森邸」
の指定管理が始まります。

そして、ホームページもリ
ニューアルオープン。下記の
アドレスに替わります。

皆様に見やすく、また
親しんで頂けるよう
頑張ります。情報等
がございましたら、
事務所までお寄せ下さ
い。お待ちしております
おります。



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
平成29年 1月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/okute/>